

わくわく、いきいき、明日への好奇心。

ローズライフ

vol.32

2017 * 夏秋号

Rose Life

特集 ●

人見麻衣さんの

いつまでも若々しい毎日を

ストールで

手軽なおしゃれ。

【撮影場所】

「ローズライフ高の原」1階ラウンジにて

かんてんライフサポート株式会社



Every day is a new day.

「毎日が、新しい日なのだ。」

アーネスト・ヘミングウェイ

*

ヘミングウェイの名作『老人と海』より。苦境に立たされた主人公の老人は、この言葉で気持ちを奮い立たせます。どんなときも心新たに、一日一日をていねいに生きたいものです。

松花堂
庭園



錦秋には紅葉に染まる庭園をぶらりと散策したい。

ぶらり
散策
スポット
……
京都府八幡市

足早に移りゆく
鮮やかな秋の色を
ゆったりと堪能。

石清水八幡宮の僧侶であり、書や画、茶道に精通する文化人だった松花堂しょうかどう昭乗ゆかりの庭園。敷地にはさまざまな趣の茶室が点在し、枯山水の庭は四季折々に違った表情を見せてくれます。特に秋は、鮮やかに色づくカエデやモミジが見もの。松花堂しょうじょう弁当発祥の地でもあるので、併設の「京都吉兆」で庭を眺めて優雅にお弁当をいただくのもおすすめです。

京都府八幡市八幡女郎花43番地の1
☎ 075-981-0010
9:00~17:00 (入園~16:30)
おとな400円、学生300円、子ども200円
休/月曜(祝日の場合は翌平日)、
年末年始



泉坊書院の
縁側の紅葉。

覚えておきたい！ ストールの基本アレンジ3パターン

ねじり巻き

ソフトな丸みのある定番の巻き方です。先端を斜め横に振ると、表情に変化が。



- ① ストールを首まわりにぐるっと一周させ、両端は自然に垂らせる。
- ② 片方の端を上から輪の中に入れて下に引っ張り出す。
- ③ 反対側も②と同様に。
- ④ 形を整えて完成。

ミラノ巻き

きりっとシャープで立体的なボリューム感が出る、簡単でおしゃれなイタリア風の巻き方。



- ① ねじり巻き①と同様に。
- ② 輪の上から手を入れ、片方のストールを少し引き出し、小さな輪(すき間)を作る。
- ③ 作った輪の中に反対側のストールを通す。
- ④ 通したストールを引っ張り、形を整える。

アクセサリーを 活用して プラス1アレンジ

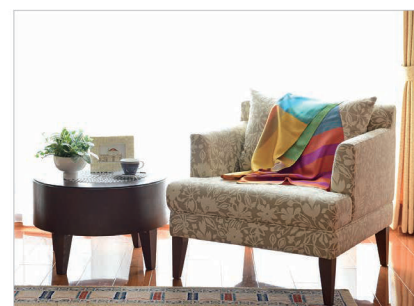


ストールにヘアゴムを通して首に一周巻きつけ、ゴムの輪の中に両先端を入れて引っ張り出す。ブローチなどを使った応用もOK!

ネクタイ巻き

シャツとの相性がよく、まさにネクタイのように衿を出して巻いて。薄手で短いストール向きです。

- ① 左右どちらかが長くなるようにストールを首にかける。
- ② 長い方のほぼ中央の位置に軽い結び目を作る。
- ③ 反対側のストールを②の結び目に通す。
- ④ 通したストールを引っ張り、ネクタイのように形を整える。



◆撮影協力…(シルクストール)「メコンブルー」
<http://mekongblue.jp>

◆撮影場所…「ローズライフ高の原」モデルルーム

の天然素材が、やはり肌なじみがよくおすすめです。
館内で着けたお互いのストールに、「その色きれいな」「どう巻いているの?」など、楽しい会話が広がるきっかけになればいいですね。

Rose Life 特集 ● 人見麻衣さんの
いつまでも若々しい毎日を

ストールで 手軽なおしゃれ。

館内でも、お出かけでも、ストールは季節を問わず1年中取り入れられる手軽なおしゃれアイテムです。女性はもちろん男性も、くるっ、ふわっと巻いて顔映りも暮らしも、明るく楽しんでみませんか。

ナビゲーター/人見麻衣さん
一般社団法人日本スカーフコーディネーター協会
ストールコーディネーター®

1981年生まれ。スカーフやストールによるおしゃれの楽しさを広げようと、自宅やカルチャースクールなどで講座を開講。色やデザインの知識も取り入れ、「Jibun-iro」代表として活動中。京都府在住。
<https://jibun-iro.amebaownd.com/>



麻



綿と同じく、さらりとした着け心地。涼しげな風合いと透け感が特長で、使うほどに肌になじんでくる。

綿



春夏向き

通気性がよくさらりとした肌触り。吸水性に優れ、汗も吸収してくれる。手軽に洗濯もできて扱いやすい。

シルク



スカーフにも多い素材で、上品な光沢と高級感が持ち味。なめらかさや発色の美しさもシルクならではの。

カシミア



秋冬向き

保温・防寒性に優れ、やわらかくしなやかな肌触り。長い間巻いていても快適な着け心地。

お部屋の中でも
軽やかに楽しんで！
おしゃれゴコロを
呼び覚ましましょう。

細長い布1枚で、顔まわりを華やかに彩ってくれるストールは、日差しよけや吸汗、空調対策など、機能面でも優れたファッションアイテムです。

素材や色柄の違い、巻き方のアレンジなどで何通りもの着こなしができ、洋服を何着もそろえなくてもコーディネートが楽しめるのも魅力のひとつ。収納に場所をとらず、お出かけ時はたたんでバッグに入れておけるのも便利。ご高齢の方は、首のシワなどをさり気なく隠す効果もあります。
ストールには、選び方、巻き方に特別なルールなどはありません。この柄がステキ、この色なら気分が上向きそう、というご自分の気持ちを大切に選んでみて下さい。素材は、綿、麻、シルクなど